

5月号

# いっしん

親と子と  
三人揃ひて  
参り来ぬ  
神はめぐしと  
みそなはすらむ

安武松太郎  
御歌

第316号

平成23年(2011年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

加治木教会 布教六十年記念大祭 平成23年 5月 29日(日)



撮影 松田信也(高一)

## 御本部

天地金乃神大祭 並びに

東北地方太平洋沖  
地震復興祈願祭 参拝

四月二日(土)九州では暖かい日和の中にソメイヨシノが開き、桜の花を眺めながら団体バスで速道路を北上し一路霊地へと向かい、御本部天地金乃神大祭(四月三日)に参拝させていただきました。

今回の加治木教会の御本部参拝は、宮崎団体のバスを利用させていただき、高速道路が宮崎市方面と鹿児島方面が合流するえびの市で乗り込ませていただきました。自家用車での参拝より、安全・安心なのありがたいです。おかげで、教主金光様のお退けお見送りにも間に合わせていただきました。

このたびの御本部「天地金乃神大祭」には、「並びに東北地方太平洋沖地震復興祈願祭」という名称が加えられて仕えられました。

教主金光様はご祭詞の中で、震災でお亡くなりになられた霊様の道立

御本部 天地金乃神大祭 … P1~2  
甘木親教会 青年の集い … P4

発表／永原和人氏 … P4~5  
感話学祭 … P6  
青年会 … P7  
教会行事 … P8



と、被災地、被災者の速やかな復興、祈りを込めた救援活動が取り組まれ、ご神願が成就されることなどを奏上されました。



このたびの御本部御大祭参拝では、ご霊地の桂屋に宿泊ができませんでしたので、教主金光様のお退けお見送り・奥津城参拝・夜の教話・朝のお出ましをお迎えに、ゆっくりとおかげを頂くことができ、いっそう有難い御礼参拝となりました。



中国地方の桜の花はまだまだ蕾が多く、桜前線が九州地方から中国地方へと日本列島をまさに北上中であることを肌を感じる参拝でした。

甘木親教会

## 青年の集い

四月十六日(土)〜十七日(日)甘木親教会で「青年の集い」が開かれました。



今年も、加治木教会から上田和也さん(三十三才)が参加させていた

きました。

甘木教会の青年会員をはじめ出社教会から二十数名の参加者が集い、親先生のみ教えを聴かせていただき、班別懇談・全体懇談などの研修を通し、互いに親しく語り合い信心の勉強をさせていただきました。

上田和也さんは、甘木親教会「青年の集い」に今年で十回目の参加となり「だんだんと参加される皆さんの素顔がわかるようになってきたと同時に、変わらずに続く信心の熱心さに驚かされます」と語っていました。

また、「いつも参加される甘木教会や出社教会の青年会員の方々が、甘木親教会の御大祭やいろんな行事によく顔が見え、どうしてあんなに熱心に御用ができるのか不思議でしょうがないと疑問が湧くと同時に、自分の信心はまだまだということがわかってきました」。さらに、三年前相知教会から参加しておられた青年で、相知教会に祭具を納入することがきつかけで金光教を知り、み教えを聴かせていただくようになり、

それから間もなく甘木教会の青年の集いに初参加しておられました。落ち着いたシツカリとした方でしたが、その方が今年には金光教学院に入り金光教の教師になられるということをお本人から聞きました。信心で人生がまるつきり変わることがあることに驚きました。私は十回ほど参加していても、それほど信心が進んでいないことが反省させられます」と語っていました。

今回の甘木親教会親先生のご教話の中で、次のことが特に心に残ったそうです。

「信心は、天地のご恩を知って、ご恩に報いることが大切。青年の集いに参加して、ただ楽しいだけでなく、これから先プラスになることを持ち帰って生かして行って欲しい。昔、ある信者さんが夫婦喧嘩をしながら麦を蒔くと芽が出ないで、神様にお供えしてお礼を申して蒔くと芽が出たということです。いつもお礼を申す心でいろんなことに取り組ませていただきますよ」

## 記念祭奉迎

## 感話発表表

テーマ「原点・あゆみ・これから」  
記念祭に向けて、信心の原点に立ち返り  
明るく元気な信心に、改め深め進めよう

永原和人

平成二十三年四月二十二日

感話発表させていただきます。

まずテーマの一番目の「原点」(テーマは「原点・あゆみ・これから」)についてですが、私の信心は母からです。また、母はそのまた母から伝えられました。私は直接的には母から産んでもらって、物心つかない赤ちゃんのときから母に連れられてお参りさせていただいております。もちろん、物心ついた頃には教会



たので、これが普通の生活の流れだと思っていました。物心つ

いたときから皆さんに良くしていただいていた。写真でしか想い出がないのですが、少年少女全国大会にお参りさせていただいたときの写真が残っています。それで、小さいときからお参りさせていただいたことがわかったようなことでした。そのため、特に抵抗もなく母に連れられての影響で、信心をさせていただいているようなことです。

少年少女会には母に連れて行ってもらっていました。私は今、二十五才にならせていただいていますがおかげで少年少女全国大会には、二十年くらい継続してお参りさせていただいています。

会社に就職させていただいて、ここ六年くらい 仕事はしていても、全国大会くらいはお参りさせていただこう と、御本部参拝ですからずつとさせていただいています。

家族の代表というつもりで、また、平日頃健康におかげを蒙らせていただいているお礼参りという意味で毎年お参りさせていただいています。

物心ついた頃に、参拝させていた

だいて久美姉ちゃんに抱っこしてもらっている写真があります。教会でも前の親先生の頃から、お祈りを頂きおかげを蒙らせていただいています。

教会にお参りすることは、私にとつては当たり前でしたので、小学校・中学校の頃には、友だちが皆お参りしているわけではありませんが、毎日お参りしたいという思いもありました。今思えばお参りしておけば良かったくらいに思います。

中学・高校になりますと部活動もありましたので、なかなかお参りする機会ができませんでした。

中学校のときに、星原可奈子さんと光太郎さんに、少年少女全国大会の年代別キャンプに誘われましたが、熱心さがなく お母さんに連れて行ってもらっているから教会にお参りしている くらいの思いしかなく、そのときは断ってしまいました。後から思うのですが中学生時代の年代別キャンプもおかげを頂いておけば良かったと思います。

中一から高一までずっと誘って

いただいていたのですが、高三で部活動も終わりました。先々したい仕事があり専門学校に進学させてもらう予定でしたので、そこまで忙しくありませんでしたので、最後のチャンスだと思いい年別別キャンプに参加させていただきました。

キャンプといっても、連合会で開かれる「夏の集い」でのキャンプとは違い、全国の教会の少年少女会から集まってボーイスカウトのような訓練キャンプですから大変なこともありました。

しかし、規則正しい生活をするこ  
とや、教会や少年少女会でのみ教え  
による規律などを経験することにな  
り、すこくためになりました。

そのときになって、中学一年の  
ときから参加しておけばよかったな  
とすこく後悔しました。

中学・高校と六年間キャンプに参  
加すると「皆勤賞」というものをも  
らえ、全国大会の「わかば祭」で表  
彰されている人の姿を見て、スゴイ  
な、自分もそういうふうになれば  
よかったな と思いい後悔したとこ

ろがありました。

しかし、高三の最後の最後で参加  
できでほんとに良かったと実感しま  
した。

そのときの経験が、今も会社に入  
っているんな面で役に立っている  
ところがあります。信心をわからせて  
いただいたことや、おかげを頂いて  
ここまでできていると思えるようにも  
なりました。さらに、専門学校に行  
かせていただき就職もさせていた  
きここまで来らせていただきました。

母と一緒に参りしていたので、  
高三まではそれで当たり前のよう  
な生活になっていました。意識もした  
ことがなかったことが、  
年別別キャンプに参  
加させていたでいて、  
考え方がすこく変わ  
りました。

その年別別キャン  
プに参加させていた  
だいた影響で、その  
次の年に全国学生会  
にも参加させていた



できました。

その全国学生会は、参加者のほと  
んどが教会の子どもさん方でした。  
十九才のときでしたが、信者の子弟  
で参加しているのは二人くらいでし  
た。教会の子弟の皆さんばかりで仲  
も良く、その中には入りにくいよう  
な気もしましたが、金光会館に寝泊  
りしているいろいろな活動や信心の勉強  
をさせていただきました。

さらに、その年の夏には年別別キ  
ャンプの中学生のスタッフもさせて  
いただきました。

このときは、一参加者として考え  
ていたことを裏方として見  
ることになったのですが、信  
心生活や規律訓練によるキ  
ャンプ生活を支える御用を  
させていただき、いろんな先  
生や先輩方の取り組みを見  
て、とても勉強になりました。  
これまで、いろんな行事で  
信心の勉強ができるチャン  
スはあったのですが、いくつ  
かの行事に参加させていた  
だくことができ、今となつ

てはそのことが、社会人として会社で仕事を  
する上で  
も人と話しをする中でも、人のことを考えること祈ること気に気をつけるようになり、すごく勉強になりました。



また、今のところ二十五才なので、これから先皆さんと一緒に、加治木教会にお参りさせていただいている一人として、また、青年会の一人として、仕事のシフトの都合がつくときには極力参加して行きたいと思えます。

五年前の、布教五十五年記念大祭のときは仕事の都合で参拝できませんでしたので、今回の六十年祭には休みも頂いていますので、皆さんと一緒に良い記念祭にできることを思っています。

また、今後とも皆さんと一緒に良い信心生活をおかけ頂いていけるように、よろしくお願ひします。

## 勸学祭 仕えられる

四月十日(日)加治木教会では、月例祭に併せて勸学祭が仕えられました。

加治木教会の少年少女員のみならず、卒業・入学・進級・進学させていただくことのできた御礼を申し上げるお祭りでした。

少年少女会員やご族のみならず、ご祭典に参拝をし玉串を奉奠して神様にお礼を申し上げます。

ご祭典・教話後、お祝いの記念品が、小学校新入学・卒業・入学する人たちに贈られました。また、参拝した子どもたちにも、お下がりのお菓子の直会が配られました。



その後、参拝者全

員で焼きそばのお直会を頂きながら、少年少女会の先輩の記念祭奉迎の感話発表を聴かせていただきました。大学卒業後も信心の稽古にはげみながら会社勤めにおかけを頂かれてあるお話を聴かせていただきました。

## あしあそ

加治木教会行事記録

### 4月

- 1(金) 報徳月例祭 10時半
- 2(土) 御本部参拝 出発
- 3(日) 御本部天地金乃神大祭
- 8(金) 琴稽古 13時半
- 9(土) 斎掃 御用 10時
- 10(日) 月例祭 勸学祭 10時半
- 16(土) 17(日) 甘木親教会 青年の集い
- 14(木) (連) 執行部会 10時半 上荒田教会
- 21(木) 斎掃 御用 10時
- 22(金) 月例祭・共励会 13時半
- " 青年会 20時
- 23(土) 大口教会 御大祭
- 24(日) 免田教会 御大祭(教話御用)
- 25(月) 甘木親教会 御大祭
- 26(火) 甘木親教会 御大祭
- 29(祝) 5月1(日) 2泊3日
- 甘木親教会 甘 交歓会(少年少女会)
- 30(土) 斎掃 御用 10時

# 青年会

元気で〜す!

四月二十二日(火)青年会例会が開かれました。

いつも出席者は多くはありませんが、この日も都合のついたメンバーで例会が始まりました。

先月鑑賞させていただきました腰塚勇人さんの「心の授業」という教育講演会ビデオの続きの最終盤を鑑賞させていただきながら、青年会参加者を待ちました。

参加者が一人二人増えたところで、布教六十年記念大祭の直会で踊らせていただく予定の「おいしく食べよう」(門司港教会青年信徒直江和隆さんご家族で作詞・作曲・振付)という曲を楽しく練習させていただきました。

最後に皆で『天地恩愛』(安武松太郎教語抄)をそれぞれ一か条ずつ読ませていただいて感想を話し、信心の勉強会をして終わらせていた



きました。

布教六十年記念大祭まで一ヶ月を切りました。

この一ヶ月間、信行期間を設けて午前十時から御祈念と研修(テキストは『天地恩愛』)があります。

研修後は、準備の御用やお直会での出し物の踊りの練習もする予定です。ともどもにおかげを蒙らせていただきますように。

## ご霊神様のおまじない

五月

- 平地ヨシ子之霊神 (7日) 昭和18年
  - 松田俊夫之霊神 (3日) 昭和20年
  - 福元久伸之霊神 (5日) 平成9年
  - 信國道雄之霊神 (6日) 平成16年
  - 庄村ヒテ之霊神 (12日) 平成12年
  - 津上國臣之霊神 (14日) 平成18年
  - 向江喜右衛門之霊神 (20日) 昭和54年
  - 向江ハジメ之霊神 (28日) 昭和47年
  - 須藤実行之霊神 (30日) 平成13年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



五月二十九日(日) 十一時

加治木教会 (前日御用奉仕)

天地金乃神御大祭 併せて

布教六十年記念大祭 奉仕

御祭主・御教話

甘木 親教会長 安武 道義 親先生

《御大祭》

五月三日(祝) 東郷教会 前教会長五年祭

五月三日(祝) 西鹿児島教会

五月五日(祝) 出水教会 記念大祭

五月八日(日) 上荒田教会

五月十四日(土) 多良木教会

五月十五日(日) 鹿児島教会

五月二十九日(日) 加治木教会 記念大祭

四月二十八日〜五月二十八日

記念祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時三十分・午前十時

ご祈念のみ 午後四時・午後九時

※信心の稽古・工夫・展開に努め、「信心する」から「信心になる」、「拝む」から「拝める」ように、「信心化」のおかけを頂きましよう。

研修のテキストは「天地恩愛」です

教会行事

5月

1(日) 報徳月例祭 10時半

3(祝) 東郷教会<sup>前教</sup>五年祭

〃 西鹿児島教会御大祭 12時

5(祝) 出水教会布教85年記念祭

8(日) 上荒田教会御大祭 11時

9(月) 斎掃御用 10時

10(火) <sup>生神金光</sup>大神様 月例祭 10時半

12(木) (連)布教協議会<sup>上荒田</sup>(<sup>教念</sup>) 10時半

13(金) 若婦人会 13時半

14(土) 多良木教会御大祭 11時

15(日) 鹿児島教会御大祭 11時

18(水) 教区 女性教師会議

21(土) 斎掃御用 10時

22(日) 月例祭・共励会 13時半

〃 青年会 20時

28(土) 御用奉仕

29(日) 加治木教会<sup>布教</sup>六十年記念大祭

31(水) 斎掃御用 10時

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を変更することがあります。随時連絡しますのでお気をください。

6月

1(水) 報徳月例祭 10時半

3(金) 親教会参拝日<sup>(参拝できるか否かは未定)</sup>

4(土) 少年少女会(作品作り) 10時半

5(日) 典楽練習会<sup>(上荒田)</sup>(<sup>教念</sup>) 13時

9(木) 斎掃御用 10時

10(金) <sup>生神金光</sup>大神様 月例祭 10時半

併せて 布教記念祭

12(日) 御本部教団独立記念祭<sup>(参拝できるか否かは未定)</sup>

14(火) 若婦人会 13時半

16(木) 17(金)

教区教会長教師研修会

19(日) (連)信徒部研修会

21(火) 斎掃御用 10時

22(水) 月例祭<sup>引き</sup>共励会 13時半

〃 青年会 20時

26(日) 27(月)

甘木親教会教師婦人部会

29(水) 斎掃御用 10時

30(木) 上半期感謝祭 10時半

(連合会) 場所 鹿児島教会

ひとつへバンド練習会

とき 随時連絡

加治木教会 バンド練習会

とき 随時連絡

※少年少女会連合本部で「東日本大震災」復興支援奉仕者募集中。五月〜七月。一期十日ほど。出発地、ご本部。宿营地は、石巻市。詳細は教会まで。